

福島県立医科大学会津医療センター附属病院 内科専門研修プログラム 【抜粋】

特性について

- 1) 本プログラムは、福島県会津医療圏の地域医療を担う中核的病院であり、かつ急性期病院でもある福島県立医科大学会津医療センター附属病院を基幹施設として、会津医療圏を中心とした連携施設・特別連携施設と病院群を形成しています(連携施設：竹田総合病院〈会津若松市〉・福島県立医科大学附属病院〈福島市〉，特別連携施設：県立南会津病院〈南会津町〉・県立宮下病院〈会津三島町〉)(表1)。また、福島県全体の医療の中心となる福島県立医科大学附属病院とも連携し、広大な福島県全域の医療を理解・実践しながら研修を行います。研修期間は基幹施設および連携施設・特別連携施設の3年間になります。
- 2) 当院は会津地域の病診・病病連携の中核であり、へき地医療拠点センター病院としての役割を担っており、その特性を活かして、一般的疾患の経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験も豊富にでき、地域病院との病病連携や診療所との病診連携も経験できます。特に、県立南会津病院や県立宮下病院といったいわゆる奥会津の病院を特別連携施設として登録しており、へき地における医療を経験しながらも最先端の医療も同時に実践できる、幅の広いプログラム構成となっています。
- 3) 当院の大学附属病院としての特色を活かした高度な先進的な医療の経験、さらに研究および教育まで専攻医の様々な要望に対応できる研修を行います。福島県立医科大学会津医療センターでは複数の臨床講座が大学院講座も併設しており、本プログラム終了後の博士号取得に向けた研究にも希望により対応できます。
- 4) 当院は全国的にも数少ない漢方内科、全国唯一の漢方外科(鍼灸)を整備しており、その特性を生かして西洋医学的観点のみならず東洋医学的観点からも患者さんに対応できます。他施設にはない全方位的な研修を行えます。
- 5) 当院は緩和ケア科・緩和ケア病棟を整備しており、終末期まで含む全人的な研修を行います。すなわち、一人の患者さんに対して、最初の診断から最終転帰に至るまで一貫して診療に携わることができることも大きな特色と考えます。

- 6) 本プログラムは、症例をある時点で経験するというだけでなく、主担当医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とします。
- 7) 基幹施設である福島県立医科大学会津医療センター附属病院と連携施設・特別連携施設の病院群での3年間で、「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験し、日本内科学会専攻医登録評価システム（J-OSLER）に登録できます。可能な限り、「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群、200症例以上の経験を目標とします。
- 8) 専攻医2年修了時点で、指導医による形式的な指導を通じて、内科専門医ボードによる評価に合格できる29症例の病歴要約を作成できます。

専門研修後の成果について

内科専門医の使命は、①高い倫理観を持ち、②最新の標準的医療を実践し、③安全な医療を心がけ、④プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を展開することです。内科専門医のかかわる場は多岐にわたりますが、それぞれの場に応じて、以下の項目に合致した役割を果たし、地域住民、国民の信頼を獲得します。

- 1) 地域医療における内科領域の診療医（かかりつけ医）
- 2) 内科系救急医療の専門医
- 3) 病院での総合内科（Generality）の専門医
- 4) 総合内科的視点を持ったサブスペシャリスト

福島県立医科大学会津医療センター附属病院内科専門研修プログラムにおける3つの研修コース（選択制）

本プログラムには3つのコース（内科全域コース、サブスペシャリティ重点コースA、サブスペシャリティ重点コースB）を設定しています（図1「福島県立医科大学会津医療センター附属病院内科専門医研修プログラムにおける3つのコース」、図2「福島県立医科大学会津医療センター附属病院内科専門医研修における週間スケジュール（例）」参照）。

当基幹施設内での研修においては、いくつかの診療科を合わせたグループ（グループ1：総合内科/漢方内科、グループ2：血液内科/感染症・呼吸器内科、グループ3：消化器内科/小腸・大腸・肛門科、グループ4：循環器内科/糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科）をローテーションで回るため、随時専門領域横断

型の研修ができます。基本的には、3年間の研修期間のうち、当院で2年間、連携病院で1年間の研修としますが、症例経験の充足度に応じて、当院での2年間の研修中に連携病院での研修（1施設3ヶ月以上）を行うことも可能です。

① 内科全域基本コース（図1-1）

3年間にわたって、全ての内科領域をほぼ均等に履修するコースです。2年間で各内科グループを6ヶ月ずつ履修し、主担当医として「研修手帳（疾患群項目表）」に定める全70疾患群を経験し、200症例以上経験することを目標とします。3年次には連携施設にて充足していない症例経験を目的とした研修を行います。また、2年間で目標を達成し、基本的カリキュラムの知識、技術・技能を修得したと認められた専攻医には、希望に応じてサブスペシヤルティ領域専門医取得に向けた知識・技術・技能研修を3年次から開始させます。

② サブスペシヤルティ重点コースA（図1-3）

早期でのサブスペシヤルティ領域専門医取得を念頭に置き、研修1年次からサブスペシヤルティ研修を一定期間行うコースです。当初の2年間のうち、1年間（1年次6ヶ月、2年次6ヶ月）はサブスペシヤルティを希望する科で研修（連携施設での研修も可）を行い、1年間は希望するサブスペシヤルティ領域以外の内科グループまたは診療科（連携施設での研修も可）で研修を行います。3年次には連携施設もしくは当院にて、サブスペシヤルティ領域研修を中心として、充足していない領域の症例経験を目的とした研修を行います。なお、本コースではサブスペシヤルティに割く時間が多くなるため、他の領域の必須項目の研修が不足する懸念もあります。このため、担当指導医（メンター）がサブスペシヤルティ以外の研修状況を随時把握し、不足分の項目については外来症例で充足することも含めて、適切な指導を行います。

③ サブスペシヤルティ重点コースB（図1-3）

重点コースA同様に、早期でのサブスペシヤルティ領域専門医取得を念頭に置いたコースですが、本コースは、1年次は3ヶ月毎に各内科コースをローテーションし、2年次からサブスペシヤルティ領域の一定期間研修が始まります。2年次にはサブスペシヤルティ領域の当院診療科で6ヶ月間研修を行い、その後の6ヶ月は充足していない領域の症例経験を目的とした研修を当院もしくは連携病院で行います。3年次は連携施設もしくは当院にて、サブスペシヤルティ領域を中心とした研修を行います。もし充足していない症例経験があれば、3年次に希望診療科での研修を行います。なお、本コースではサブスペシヤルティに割く時間が多くなるため、他の領域の必須項目の研修が不足する懸念もあります。このため、担当指導医（メンター）がサブスペシヤルティ以外の研修状況を随時把握し、不足分の項目については外来症例で充足することも含めて、適切な指導を行います。

図 1. 福島県立医科大学会津医療センター附属病院内科専門研修プログラムにおける 3つのコース

図 1-1

内科全域基本コース (例)

| 専攻医研修 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------|--|----|--|----|----|----|---------|-----|-----|----|----|----|
| 1年次 | 内科グループ1 | | | | | | 内科グループ2 | | | | | |
| | 会津医療センター附属病院内科グループをローテーション。6か月を1クールとして研修を行う。 | | | | | | | | | | | |
| 2年次 | 内科グループ3 | | | | | | 内科グループ4 | | | | | |
| | 会津医療センター附属病院内科グループをローテーション。6か月を1クールとして研修を行う。 2年修了時、少なくとも45疾患群・120症例以上を経験し、内科専門医取得のための病歴を作成する。 | | | | | | | | | | | |
| 3年次 | 連携施設・特別連携施設での研修 | | | | | | | | | | | |
| | 充足していない症例経験を目的とした研修、サブスペシャリティ領域の研修を行う。 3年修了時、少なくとも56疾患群・160症例以上を経験し、内科学会専攻医登録評価システムに登録する。 | | | | | | | | | | | |
| その他のプログラム要件 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ JMECCを受講する ・ 医療倫理、安全、感染対策講習を年2回以上受講する ・ 内科系の学術集会や企画に年2回以上参加する ・ 筆頭演者または筆頭著者として、学会あるいは論文発表を2件以上行う ・ 3年次には臨床研究の立案・実施を行い、結果を原著論文として発表する | | | | | | | | | |

図 1-2

サブスペシャリティ重点コースA (1年目からサブスペシャリティ領域選択)
(消化器内科を選択した場合の一例)

| 専攻医研修 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------|---|----|--|-------|----|----|---------|-----|-----|---------|----|----|
| 1年次 | 消化器内科 | | | | | | 内科グループ1 | | | 内科グループ2 | | |
| | 希望するサブスペシャリティ領域診療科で研修を開始し、当該科を中心に内科グループをローテーション。専門領域以外は3か月を1クールとして研修を行う。 | | | | | | | | | | | |
| 2年次 | 連携施設(神経内科) | | | 消化器内科 | | | | | | 内科グループ4 | | |
| | 基本的には1年次と同様。充足に満たない領域は連携施設での研修(3ヶ月)も可。 2年修了時、少なくとも45疾患群・120症例以上を経験し、内科専門医取得のための病歴を作成する。 | | | | | | | | | | | |
| 3年次 | 消化器内科を中心とした、連携施設・特別連携施設・当院での研修 | | | | | | | | | | | |
| | 充足していない症例経験を目的とした研修、およびサブスペシャリティ領域の研修を行う。 3年修了時、少なくとも56疾患群・160症例以上を経験し、内科学会専攻医登録評価システムに登録する。 | | | | | | | | | | | |
| その他のプログラム要件 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ JMECCを受講する ・ 医療倫理、安全、感染対策講習を年2回以上受講する ・ 内科系の学術集会や企画に年2回以上参加する ・ 筆頭演者または筆頭著者として、学会あるいは論文発表を2件以上行う ・ 3年次には臨床研究の立案・実施を行い、結果を原著論文として発表 ・ 3年間で最低1年間は連携・特別連携施設での研修が必要 | | | | | | | | | |

図 1-3

サブスペシャリティ重点コースB（2年目からサブスペシャリティ領域選択）
（消化器内科を選択した場合の一例）

| 専攻医研修 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------|--|----|----|---------|----|----|-------------|-----|-----|---------|----|----|
| 1年次 | 内科グループ1 | | | 内科グループ2 | | | 内科グループ3 | | | 内科グループ4 | | |
| | 会津医療センター附属病院内科グループをローテーション、3か月を1クールとして研修を行う。 必要に応じて、希望する連携施設診療科での研修も1ヶ月単位で調整可能。 | | | | | | | | | | | |
| 2年次 | 消化器内科 | | | | | | 当院・連携施設での研修 | | | | | |
| | 6ヶ月はサブスペシャリティ領域の専門研修を当院で行い、その後は充足していない症例経験を目的に研修。 2年修了時、少なくとも45疾患群・120症例以上を経験し、内科専門医取得のための病歴を作成する。 | | | | | | | | | | | |
| 3年次 | 消化器内科を中心とした連携施設・特別連携施設・当院での研修 | | | | | | | | | | | |
| | サブスペシャリティ領域の研修を中心に、充足していない領域について追加研修。 3年修了時、少なくとも56疾患群・160症例以上を経験し、内科学会専攻医登録評価システムに登録する。 | | | | | | | | | | | |
| その他のプログラム要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ JMECCを受講する ・ 医療倫理、安全、感染対策講習を年2回以上受講する ・ 内科系の学術集会や企画に年2回以上参加する ・ 筆頭演者または筆頭著者として、学会あるいは論文発表を2件以上行う ・ 3年次には臨床研究の立案・実施を行い、結果を原著論文として発表 ・ 3年間で最低1年間は連携・特別連携施設での研修が必要 | | | | | | | | | | | |

註1： 内科グループは以下の様に分類されます

グループ1：総合内科，漢方内科

グループ2：血液内科，感染症・呼吸器内科

グループ3：消化器内科，小腸・大腸・肛門科

グループ4：循環器内科，糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科

註2： 当院内で内科サブスペシャリティ領域を主として担当する診療科

総合内科：総合内科，漢方内科

消化器：消化器内科，小腸・大腸・肛門科

循環器：循環器内科

内分泌：糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科

代謝：糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科

腎臓：糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科

呼吸器：感染症・呼吸器内科

血液：血液内科

神経：総合内科

アレルギー：感染症・呼吸器内科，総合内科

膠原病：感染症・呼吸器内科，総合内科

感染症：感染症・呼吸器内科，総合内科

救急：総合内科を中心とした各内科

図 2. 福島県立医科大学会津医療センター附属病院内科専門医研修における週間スケジュール (例)

内科専攻医週間スケジュール (例：内科全域基本コースの場合)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
|--------------------------|----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-------------------------------------|-----|
| 午前 | 朝カンファランス・回診(各サブスペシャリティ診療科) | | | | | 担当患者の病態に応じた診療、オンコール、当直、学会出席、講習会出席など | |
| | 総合内科初診外来 | 各種検査 (各内科グループ) | 再診外来診療 (各内科グループ) | 各種検査 (各内科グループ) | 新患外来診療 (各内科グループ) | | |
| 午後 | 入院患者診療 (各内科グループ) | 入院患者診療 (各内科グループ) | 入院患者診療 (各内科グループ) | 入院患者診療 (各内科グループ) | 入院患者診療 (各内科グループ) | | |
| | 新患外来診療 (各内科グループ) | 各種検査/治療 (各内科グループ) | 救急外来当番 オンコール (全科) | 各種検査/治療 (各内科グループ) | 総回診 (各診療科) | | |
| | タカンファランス(各サブスペシャリティ診療科) | | | | | | |
| | CPC、講習会など | 地域参加型カンファランス 等 | 抄読会・勉強会等 (各診療科) | 内科合同カンファランス (全内科) | | | |
| 担当患者の病態に応じた診療・オンコール・当直など | | | | | | | |

- 上記はあくまでも内科全域基本コースにおける一例 (概略) です。
- 各内科グループおよび各診療科 (サブスペシャリティ) のバランスにより、担当する業務の内容 (外来診療, 各種検査治療), 曜日, 時間帯は調整・変更されます。
- 日当直やオンコールなどは, 内科もしくは各診療科 (サブスペシャリティ) の当番として担当します。
- 救急外来当番は救急外来における全科の救急患者の対応をします。
- 地域参加型カンファレンス, 講習会, CPC, 学会などは各々の開催日に参加します。

表 1. 福島県立医科大学会津医療センター附属病院内科専門研修施設群

| | 病院 | 病床数 | 内科系病床数 | 内科系診療科数 | 内科指導医数 | 総合内科専門医数 | 内科剖検数 |
|--------|----------------------|------|--------|---------|--------|----------|-------|
| 基幹施設 | 福島県立医科大学会津医療センター附属病院 | 226 | 146 | 9 | 18 | 9 | 2.3 |
| 連携施設 | 竹田総合病院 | 837 | 250 | 8 | 8 | 4 | 10 |
| 連携施設 | 福島県立医科大学附属病院 | 778 | 213 | 10 | 81 | 51 | 20.7 |
| 特別連携施設 | 県立宮下病院 | 32 | 32 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 特別連携施設 | 県立南会津病院 | 98 | 48 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 研修施設合計 | | 1971 | 689 | 29 | 107 | 64 | 33 |

表 2. 福島県立医科大学会津医療センター附属病院診療科別診療実績

| 2015年実績 | 入院患者実数 (人/年) | 外来延患者実数 (人/年) |
|---------------|--------------|---------------|
| 総合内科 | 91 | 15585 |
| 血液内科 | 369 | 8646 |
| 糖尿病・内分泌代謝・腎臓内 | 141 | 10436 |
| 消化器内科 | 785 | 9478 |
| 循環器内科 | 302 | 7760 |
| 感染症・呼吸器内科 | 172 | 5395 |
| 漢方内科 | 26 | 9003 |
| 小腸大腸肛門科 | 180 | 3738 |
| 緩和ケア科 | 194 | 725 |
| 救急室 | 155 | 1616 |

表 3. 各内科専門研修施設の内科 13 領域の研修の可能性

| 病院 | 科 総合内 | 消化器 | 循環器 | 内分泌 | 代謝 | 腎臓 | 呼吸器 | 血液 | 神経 | アレルギー | 膠原病 | 感染症 | 救急 |
|----------------------------|----------|-----|-----|-----|----|----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|
| 福島県立医科大学 津療センター 附属病院 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 竹田総合病院 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 福島県立医科大学 附属病院 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 福島県立宮下 病院 | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | × | × | × | × | △ | × |
| 福島県立南会 津病院 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | × | △ | × | × | △ | △ |

各研修施設での内科 13 領域における診療経験の研修可能性を 3 段階に評価しました。 <○：研修できる，△：時に経験できる，×：ほとんど経験できない>

表4. 会津医療圏における地域参加型カンファレンスおよび研究会一覧

| 血液関連 | 呼吸器関連 | 循環器関連 | 消化器関連 | 内科総合関連 | 糖尿病・代謝関連 | 東洋医学関連 |
|----------------|-----------------------|-----------------|--------------------------|--|------------------------------|------------------|
| 会津血液研究会 年2回 | 会津呼吸器疾患 懇話会 年6回 | 会津循環器懇話会 年4回 | 会津消化器病研究会 年10回 | Fukushima Advanced Course by Experts 年5回 | 会津メディカル センター糖尿病ネット 年2回 | 会津漢方診療懇話会 年5回 |
| | | 会津不整脈研究会 年1回 | 消化器画像強調内視鏡 勉強会 年2回 | 会津日新館 3病院合同勉強会 年3回 | 喜多方糖尿病治療 を考える会 年2回 | |
| | | | 会津大腸疾患研究会 年3回 | 会津日新館EBM セミナー 年1回 | 生活習慣病研究会 年1回 | |

表5. 各診療科で積極的に参加している福島県/東北地方/全国規模の学会・研究会

| | 血液関連 | 感染症・呼吸器関連 | 循環器関連 | 消化器関連 | 内科総合・神経関連 | 糖尿病・代謝・腎臓関連 | 東洋医学関連 |
|------------|------------------------------------|---|--|---|--|--|--|
| 福島県内研究会 | 若竹リンパ腫研究会 福島血液疾患研究会 | | 福島肺炎血液研究 福島心療治療懇話会 福島心不全研究会 福島循環器補正治療研究会 CIC | 福島県消化器病研究会 福島ESDクラブ 胆道勉強会 福島県治療内視鏡研究会 福島県超音波内視鏡研究会 福島県腫瘍研究会 福島消化器フォーラム | 福知フォーラム | 福島糖尿病フォーラム 福島県糖尿病療養指導士会 | 日本東洋医学会福島支部会 |
| 東北地区学会・研究会 | 日本血液学会東北地方会 | 日本呼吸器学会東北地方会 東北感染症・化膿フォーラム 日本内科学会東北地方会 | 日本循環器学会東北地方会 日本心臓血管インターベンショナル治療学会東北地方会 日本内科学会東北地方会 | 日本消化器病学会東北支部例会 日本消化器内視鏡学会東北支部例会 東北消化器CT研究会 東北腫瘍研究会 福開ワークショップ | 日本内科学会東北地方会 日本神経学会東北地方会 東北老年期認知症研究会 | 日本糖尿病学会東北地方会 | 日本東洋医学会東北支部会 全日本鍼灸学会東北支部会 |
| 全国規模学会・研究会 | 日本血液学会 日本輸血細胞治療学会 日本造血細胞移植学会 | 日本呼吸器学会 日本感染症学会 日本結核病学会 日本内科学会学術総会 日本画像学会 | 日本循環器学会 失神研究会 カテーテルアブレーション関連秋季大会 精進みデバイス関連冬季大会 | 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本腫瘍学会 日本消化器学会 日本胆道学会 日本門脈圧亢進症学会 日本大腸肛門病学会 日本カプセル内視鏡学会 FNA CLUB JAPAN 腫瘍消化器病研究会 日本消化器腫瘍学研究会 大腸がん研究会 消化管先進画像診断研究会 | 日本内科学会 日本神経学会 日本神経化学学会 日本運動障害研究会 ブラザーズ学会 診断推論セミナー | 日本内分泌学会 日本病態栄養学会 日本肥満症治療学会 日本糖尿病学会 日本臨床分子医学学会 日本高血圧学会 日本腎臓学会 | 日本内科学会学術総会 日本東洋医学会学術総会 和漢医学学会学術総会 全日本鍼灸学会 |
| 国際学会 | American Society of Hematology | European Respiratory Society American Thoracic Society Asian Pacific Society of Respiratory | | DDW(米国消化器病学会連盟) UEGW(欧州消化器病学会連盟) APDW(アジア太平洋消化器病学会連盟) International Digestive Endoscopy Network Asian EUS Congress SGI(Society of Gastrointestinal Intervention) International EUS Congress Endoscopy Symposium by Shaanxi Endoscopy Association | | | |